

山路良藏藏病氣瘵中、の所
藥石効無し十月十四日午前
七時ノス市サンタカザで
に於いて死去翌十五日上塚
第二殖民共同墓地に埋葬
し、候此の發生前尋知諸賢
に謹告仕り候也

昭和八年十月二十一日

妻 山路 イマ
長男 同 哲夫
四男 同 達雄

親族總代
佐 藤 龜太郎
岡 村 龜義
中 村 末熊

友人總代
松 上 塚 周平
岡 谷 正治
坂 本 留次郎
鈴木 三造
鈴 崎 三二
吉 庄 法雄
杉 本 義雄
西山 末次
西 山 大藏
羽 高 權藏
高 權藏

殖民者一同
殖民者一同
殖民者一同
殖民者一同
殖民者一同
殖民者一同
殖民者一同
殖民者一同
殖民者一同
殖民者一同

自由論壇



實下の不満、希望
その他諸々の感想
の自由なる發表に
提供した一頁です
忌憚なく卒直に、
大藪を切られよ

街の隨筆

スケッチ

● 櫻田聖笑

△締結と氣候によつて退化するものかも知れぬが、孰れの國民でも第三世第四世となると、性質が一定の型に單純化されて失ふ個性を失つてゐる。従つて本國イタリヤ、フランス、ドイツ其の外小國には世界に銷々たる大天才も多數であるが今後他伯國ではその出現を望むのは望むのが無理な様な氣がする。

生活斷片

或る男の人生觀

アラサツバ 池田

「さういふ定石らしい口調のため
に、はなへられなかつたので、今年は
介角の米を皆エカガやせられ、漸
く遊戯的に試みて、種作で、一ヶ年
の赤字をやくりくりとつて、「コンレ
ン」金拂つて「ミヨロ」など植ゐな
る。」

何等の變化もなかつた。
彼の車轍、エンシヤード二丁、三
フルクレスの借地、米二百十五
俵、アケア、フエイロヨ二十俵
棉百三十其の他雜
「僕みたいなバカアンドでも収入
十コントス近くもあるのかれ」
とつづいて、「アラウは香氣な
處さ、香氣なのがアラウに於け
る俺の人生觀さ」

教育と家庭

サンパウロ日本人學校父兄會
書記長 木村末喜

木村末喜

「新鮮なる空氣と清淨なる空氣」
 などが新しく重要であらうには、
 勿論多くの多數の兒童に生命を托せし
 められたる教師が、常に此點に留意し
 て、幾ての兒童を常々驅つたる
 氣分に導くことは、亦重なる任
 務であるが、目前に於て以來常に
 觀察する處によれば、新機なる注意
 に對しては、一般に遠慮勝つた意
 見を以て、誠に遺憾となつてゐる
 といふ事實である。日換を目的と
 して窓の開閉に加減を怠らざる者
 があつては異ならない。同様の教育
 社會に於ても、多數の寄宿生を預
 け、ベル結に擬して居りたりと
 して之だけの注意が払いて居る
 ことを疑はせられた事を遺憾とする
 右の如く空氣の導ひこそから、或
 る人々は深呼吸を無暗に強制する
 者あることに對しては、一言附加
 する必要があると思ふ。一語呼吸
 は最も自然な動作で、生れ落ちる
 瞬間の一聲、所謂吸々々の聲でスマ
 ートを切つて以來一刻も中止する
 事の出来ないほどの自然的作用で
 ある。従つて此の自然的作用を人
 工的に加減する場合は、最も注意
 を要することは當然であるのだ。
 願ひ子供に對し矢張り深呼吸を強
 ふ時は、大なる害を來すこと
 である。要するに肉體上の訓練は
 スベテ漸進主義を最も堅實なやり

リテンイい若
記手農勞の性女

つみ、保も學校を休んで、何時になく元氣に斜持よく働いてゐた、二番子と三番子が四眠に入つたので、明日は少し休める

んが夕刻まで遊んでサヤカを共にして行つた。別にこの思はれを共にすることもないが、手紙の借金が山になつてゐる。腹食を忘れるといふことがあつたが、その言葉にも似た大忙だ。午後暖をみて御洗濯を少しする。

九月三日(火)晴、大風
大風で、日中しめつさり、昨日の夕刻から信さへは、連日の働きに疲れて、夕食もせず休んだが、夜との奥桑は三番子と二番子が四眠に主つたので、助がつたかたち。主人と信さんとも染つた。保が遊び方、父はござんといふ、伯母は風邪氣味。味珍堂も興へて注意する。

多忙といふ事は、一切の煩悩を忘れさせてくれる。體の具合も驚く。勢動し一切を消滅させてくれる。お湯の香しに興へたらさうな瞬間である。夕方、雨模様となつた。

かと思ふ、U

人の運転手の自動車は何時も威勢よくすりすり列んでゐる。これを否定出来る日はカルナバリだ。尤もその前には何時も完成すると分らないが寺もありますからね。

△伯國男がエレベータ内で四五人ゐる處へ、姫が進入してゐるものなら、一驚に場席を興へ、言ひ合せた様に脱帽する。これはよいが、婆さんであるとか或る者は脱帽したりせぬなり、此れがアラブ神人の禮儀である。

△神名、共和國、黎明等、あの場所と似てもつかない。町の名だ名には恐れてはいけませんな。

△日本人がバステス食ひに行つて一人の時はむしろ二人の時をニヤツと顔を合せて食ふ。三人の時は笑ひながら食ふ。そして「チンゴロの野郎が毒は入れてまい」なんぞ言ふとごつと笑つてゐる。支那は言葉は通じないが大してよい感じは持つてゐないだらう。笑はぬ國民としてせつとさういふ。彼等の團結力と進取の氣象と持久力と天才的蓄富法を見よ。

△黒坊の女があゝの黒面に白粉を塗つてゐる。何のこゝろない黒いコンニクサで氣の毒な感じがする。黒い肌には黒いなりに藝術的美容法を行へ、これには先づ黒粉を塗明せよと黒人協會にその問題を提出しやうと思つてゐますが諸君如何です。

△此の頃は先づ減少したが、聖市の乞食の先生特に日本人には氣安いと見ゆる。外國人の派手な衣裳をたて婦人達には何れ言はれるかと「ダーク・エモーション」を道り出す。不思議な乞食の心理だ。

△聖市の町で疾走するオートバイの音は特凄く。音無しではないが一塵もない。威勢だけは良いが、これがアラワルのメカニズムかも知れない。

民晴 着

堀田野情

晴着ゆふのか
嫁入り仕度
夜業仕事に
カキカタ……

* * *

黄道吉日
もう日は近い
胸も高鳴る
カキカタ……

して、手傳つて貰ふ、夜は大雨で
電氣なし

慢性諸病を根治する針灸マツ
サロイ電氣療法殊に神経病婦
人病等
リンス市九月七日街五〇

川原物理療院
(大森工所の前)

Telephone, 2837 Endergo Telegraphico "TOZAN"

CASA TOZAN

HIZUKAMI & CIA.
COMMISSARIOS
SANTOS

Praga Mauá, 25 Caixa Postal, 911

弊店取引方法は御照
 會次第御回報申上候
 珈琲コミサリオ
 カーザ東山
 ミヅカミ・イ・コンパニア
 サントス市
 邦画……………九一「號
 電話セントラル二八三七號
 電信略號「TOZAN」

CASA FOTOGRAFICA
SÃO PAULO - R. SÃO BENTO, 45
Artigos fotograficos
すまじ致書發で【軒四枚一】—眞寫の會誌上陸伯日

現代小説 伊達事變
 三木の美空に描く、戦時下の悲劇。愛と死の物語。
小説 蒼蒼黒眸 菊池 寛
 三木に描く、戦時下の悲劇。愛と死の物語。

十月大飛躍號

現代小説 燃える處女林 (三上 吉)
 三木の美空に描く、戦時下の悲劇。愛と死の物語。
小説 伊達事變
 三木の美空に描く、戦時下の悲劇。愛と死の物語。
小説 蒼蒼黒眸 菊池 寛
 三木に描く、戦時下の悲劇。愛と死の物語。

小説 天保水月双紙 佐々木 味津三
 天保水月双紙の物語。
小説 蒼蒼黒眸 菊池 寛
 三木に描く、戦時下の悲劇。愛と死の物語。

福士

純情馬の婿入
 純情馬の婿入の物語。
小説 陣屋の正太郎
 陣屋の正太郎の物語。
小説 蒼蒼黒眸 菊池 寛
 三木に描く、戦時下の悲劇。愛と死の物語。

恋の市丸
 恋の市丸の物語。
哀恋秘帖! 美人歌手の実話小説
 美人歌手の実話小説の物語。